

ウラクロシジミを初めてみたのは日光の川俣温泉。夕刻時に遠くの崖際で翅表の銀白色を輝かせながら複数の個体が飛び交う光景を目にしたが、当時は望遠撮影ができるビデオカメラもなく、ただそのきれいな舞を眺めていただけ。中学・高校生時代に県外の愛好家と蝶標本の交換をした際に、ウラクロシジミを手元で見る機会を得ても、川俣温泉で目にしたあの光景を間近にみて撮影記録を撮りたいという願望が捨てきれいなまま時が過ぎていった。

兵庫県豊岡市の来日岳に行けばヒサマツミドリシジミに会えると知り、何度か通ってみたがその観察時期がウラクロシジミの発生期より少し遅いこともあってなかなかタイミングが合わなかった。それでも 2019 年 6 月 18 日、偶然ウラクロシジミの飛翔を目にでき、時期さえ合えばここで観察できるとの確証をえた。

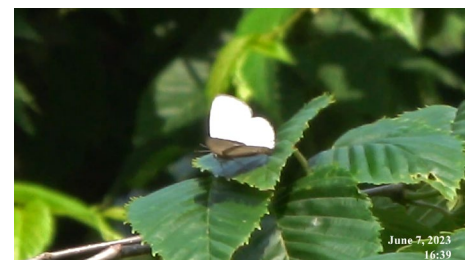
June 7, 2021 来日岳 (567m) に遠征

2019 年 6 月 18 日、ヒサマツミドリシジミにしても遅い時期の訪問で香川県から日帰りできたという男性が目の前でフジミドリシジミをネットインするのを見せつけられ、夕刻にはウラクロシジミが飛ぶのを見ただけで終わったことから、両者の発生にはいい頃かと日帰りのでかける。時刻が 16 時半を過ぎたため、山頂部から 1km ほど下りた場所へと移動して今少し粘ってみる。すると明らかにウラクロシジミだと思える小さなチョウがコナラの梢部分をかすめるように飛び始める。長竿をつかった捕獲が難しく、ネット部分よりも手前を飛ばれると重い竿をすぐには引けないなどの悪戦苦闘を続け、やっとネットインできたときはなんといっても人生の初記録でうれしく、新鮮個体を車で待つ妻にも見せてやる。



June 7, 2023 来日岳に遠征

高砂から 126km の来日岳へ、フジミドリシジミとウラクロシジミとの出会いに期待して 9 時半に出発し途中、道の駅：銀の馬車道 (46km)、和田山海鮮せんべい店 (74km) に立ち寄り、現地到着は 12 時半。16 時をまわったところでウラクロシジミに会える確率が高いポイントまで移動。銀色の輝きをみせるウラクロシジミが何度も飛びぬけていくがめったに静止はしてくれない。それでも待ち続けるとヤマボウシの葉上で開翅姿勢をとる個体がいいて、望遠モードでなんとか撮影記録がとれ、遠距離の遠征につき合ってくれる妻に、何とか報いることができると一安心。



June 8, 2024 来日岳 (567m) に遠征

来日岳まで 6 月 5 日に続けて本年二度目の遠征。フジミドリシジミとウラクロシジミのリベンジだが、フジミドリシジミにはこの日も会えず。ずっと曇り空で風も強いせいか 5 日にみたスミ

ナガシの登場はなく、ウラクロシジミに期待して場所を移動。以前に複数個体の飛翔を見た場所で粘り強く待つと、17時を過ぎてようやく白銀を輝かせた2♂の巳飛翔が展開する。その絡みの飛翔が解けると、お互いが離れた位置の葉上に落ち着くが、わずかに花が咲くタニウツギの葉上に落ち着いた個体がビデオ撮影に適しているとわかり、フリーハンド&ズームアップ撮影に注力する。ときおりわずかに翅を開く動作をしてくれることで、翅表の白銀色が垣間見られる。

